

平成30年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者									
1 学習指導 ・地域連携 (中高一貫 教育) 〔教務部〕	授業改善、部 活動と両立 した学習習 慣の確立お よび中高一 貫教育の特 性を活かし た教育の充 実に努める。	①主体的・協 働的な学び を育む授業 改善に努め る。	新しい学力観を見据えた、学 びを育む授業改善に積極的に取 り組んでいる。生徒の理解度は すべての学年で昨年度の指数を 上回っており、上昇傾向にある。 また、保護者からみた子ども の学習状況は全体として目標値 を超えているが、低学年で低く、 低学年で家庭学習の充実を図っ ていく。	【取組指標】 主体的・協働的な学びを育む授 業に積極的に取り組む。	日々の授業の中で、主体的・協働的な学びを育 む授業改善の取組について A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が90%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員									
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【成果指標】 日々の授業の理解度について 把握する。			私は、授業の基礎的な内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、取組体制、指導方法を 検討する。	生徒						
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上							【満足度指標】 子どもの学習習慣を保護者の 視点から把握する。	子どもは、学習を A：しっかりやっていると思う。 B：ある程度やっていると思う。 C：あまりやっていないと思う。 D：全くやっていないと思う。	A+Bの合計が70%未満の場 合は、家庭との連携を強めると ともに、課題の与え方等、改善 策を検討する。	保護者		
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【取組指標】 中高一貫教育の適切な実践に 努める。			中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。							A+Bの合計が90%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が90%以上							【成果指標】 中高一貫教育の実践について 中学校の教員の視点から把握 する。	中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。				
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【成果指標】 中高一貫に関わる授業の理解 度について把握する。			中高一貫に関する授業内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。								
	【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	【満足度指数】 中高一貫教育の実践について 保護者の視点から把握する。	中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。	A+Bの合計が90%未満の 場合は、改善策を検討する。		連携中学校 連携クラス 保護者										
	【目標指数】 A+Bの合計が90%以上															
			②地域との連 携を密にし、 特色ある教 育活動をと おして、中 高一貫教育 の充実・発 展に努め るとともに、 取組を積極 的に広報す る。		中高一貫教育の事業に対する 連携生徒、保護者の評価、満足度 は昨年度同様に高い水準を維持 している。 その一方で、連携中学校の教 員評価は低い。事業内容につ いて連携中学校との連絡・調整を 密に行い、中学から高校への接 続について議論を深めるととも に、さまざまな取組を積極的に 広報していく。											

平成30年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 [校務分掌]	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	
2 生徒指導 [生徒 指導部]	特別活動や 部活動の活 性化を図り、 豊かな人間 性と自主的 ・実践的態 度の育成に努 める。	①登校指導や 頭髪服装指 導をととし て、挨拶の 励行、時間 厳守、身だ しなみなど の基本的生 活態度の育 成に努める。	昨年度、教職員・生徒・保護者とも目標指数を上回った。毎朝の登校指導や生徒会の活動などを通して、挨拶に代表される基本的な生活態度が身に付いている生徒の割合は高い。一方で挨拶が十分とは言えない生徒も見られる。生徒一人ひとりが意義を自覚し、積極的に場に応じた挨拶ができるよう、様々な機会をととして指導していく必要がある。また、時間厳守や身だしなみなど、ルールやマナーを積極的に守ろうという態度を育成する。	【取組指標】 生徒への挨拶を積極的に行う。 【目標指数】 A+Bの合計が85%以上	生徒への挨拶を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり積極的には行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が85%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	
			【成果指標】 先生や友人への挨拶を積極的に行う。 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	私は、先生や友人への挨拶を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒		
			【満足度指標】 進んで挨拶ができる。 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	子どもは A：進んで挨拶ができています。 B：ある程度挨拶ができています。 C：あまり挨拶ができていない。 D：挨拶ができていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者		
			【取組指標】 生徒が個々の役割や責任を果たせるよう支援する。 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	生徒に A：積極的に支援している。 B：ある程度支援している。 C：あまり支援していない。 D：支援していない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員		
		②学校行事や クラス活動、 部活動など に積極的に 取り組ませ 生徒の自主 的・実践的 態度とリー ダーの育成 に努める。	多くの生徒が自主的・積極的に行事や部活動に取り組んでいるが、主体性や積極性に欠け、自己を十分生かし切れていない傾向もみられる。学校行事や部活動で生徒自身が役割を主体的・積極的に担い、その責任を他者と協力して果たすことにより、自信や自立心を持てるよう支援する。	【成果指標】 自分の役割を積極的かつ主体的に行なう。 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	学校行事や部活動において、自分の役割を意識し、積極的な取組が A：できている。 B：ある程度できている。 C：あまりできていない。 D：できていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒	
			【満足度指標】 子どもは、学校行事や部活動等に楽しく参加する。 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	子どもは学校行事（学校祭や球技大会等）・部活動等に A：大変、充実していた様子である。 B：充実していた様子である。 C：あまり充実した様子ではない。 D：充実した様子ではない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者		
			③いじめの未然 防止、早期発 見、早期解決 に対する教職 員の意識の高 揚に努める。	いじめ問題について正しい認識と理解のもとで、日々の教育活動をさらに組織的に進めていく。	【意欲・取組指標】 いじめ問題に対して正しく認識し、適切に対処する。 【目標指数】 A+Bの合計が100%	いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて A：十分に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：ほとんど取り組んでいない。	A+Bの合計が100%未満の場合は、改善策等を検討する。	教職員

平成30年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 [校務分掌]	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
3 進路指導 [進路 指導部]	生徒一人ひとりの学力向上と進路意識の高揚を図り、主体的に進路を切り拓く態度の育成に努める。	①進路指導計画を策定し、模試の分析を有効に活用することで学力の向上を図り、進路行事等をおして意識の高揚を図る。	昨年度、教職員・生徒・保護者とも全体では目標指数を上回ったが、学年によっては下回ったところもある。今年度は、模試の活用による学力の向上に取り組むとともに、生徒の志望や実態に即した効果的な各種講座や補習の実施に努める。	【取組指標】 各種講座を計画的に実施し、模試の分析を積極的に行うことで生徒の学力向上につなげる。	各種講座への取り組み、模試の分析等を活用することを A：積極的に行っている。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【成果指標】 各種講座(土曜講座・大学入試対策講座等)へ土曜講座・大学入試対策講座等に参加し、模試を活用することで学力の向上を図る。	各種講座(土曜講座・大学入試対策講座等)への参加や、模擬試験の活用は A：学力の向上に十分役立った。 B：学力の向上におおむね役立った。 C：学力の向上にあまり役立たなかった。 D：学力の向上に役立たなかった。	A+Bの合計が80%未満の場合は、実施方法、指導方法を検討する。	生徒
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
	生徒一人ひとりの学力向上と進路意識の高揚を図り、主体的に進路を切り拓く態度の育成に努める。	②学年通信や進路だよりの発行、研修会等をおして、生徒・保護者への適切な進路情報の提供に努める。	昨年度、教職員・生徒・保護者とも目標指数を上回った。今後も、各学年との連携を密にして、生徒の進路意識を高めるとともに、進路研修会や進路だよりの発行等をおして、生徒・保護者への適切な進路情報の提供に努める。	【取組指標】 生徒の志望を把握し、きめ細かく適切なガイダンスを行う。	金津高校では土曜講座や休業中の補習等、学力向上に関する取組が A：十分に行われていると思う。 B：おおむね行われていると思う。 C：やや不十分であると思う。 D：不十分であると思う。	A+Bの合計が80%未満の場合は、取組体制を検討する。	保護者
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【取組指標】 進路に関する、ガイダンスや情報提供を、生徒や保護者に A：積極的に行っている。 B：おおむね行っている。 C：やや不十分である。 D：不十分である。	(進路だより・進路情報誌やwebの活用、オープンキャンパスへの参加などによって)自らの進路について A：積極的に考えている。 B：おおむね考えている。 C：あまり考えていない。 D：全く考えていない。	A+Bの合計が70%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上			
【成果指標】 生徒一人ひとりが自分の進路について主体的・積極的に考える。	学校からの進路情報の提供や模試の結果を受けて、お子様の将来の進路について話し合うことが A：十分できていると思う。 B：おおむねできていると思う。 C：あまりできていないと思う。 D：できていないと思う。	A+Bの70%未満の場合は、生徒や家庭への進路情報提供を強化する。	保護者				
【目標指数】 A+Bの合計が70%以上							

平成30年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
4 保健管理 〔保健部〕	健全な心身を育む生活習慣の確立と美化・環境保護に対する意識向上に努める。	①家庭と連携し、心身の健康に関する知識を深め、自己の健康管理能力を育てる。	学校全体で日常の健康管理は定着してきているが、生徒の健康管理意識をさらに向上させる必要がある。心身の健康に配慮が必要な生徒に気を配り、健康管理と生徒理解に向け、家庭との連携や教員間の共通認識をより一層深めていく。	【取組指標】 家庭や保健室・教育相談係と連携し、心身の健康に配慮が必要な生徒の把握と対応に努める。	クラスの生徒の心身の健康管理に A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員 (クラス担任)
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【成果指標】 心身の健康について自己管理をする。	心身の健康を保持増進するための生活習慣が A：しっかり身につけている。 B：ある程度身につけている。 C：あまり身につけていない。 D：身につけていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【満足度指標】 子どもは家庭でも心身の健康管理に努めている。	子どもは家庭で心身の健康管理を A：しっかり行っていると思う。 B：ある程度行っていると思う。 C：あまり行っていないと思う。 D：全く行っていないと思う。	A+Bの合計が70%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上			
	②美化意識の向上と主体的な清掃活動の実践を目指す指導に努める。	生徒は真面目に清掃に取り組んでいるが、監督者の指示に従った清掃に終わりがちである。清掃方法や重点項目を示しながら、生徒の美化意識を高め、主体的に清掃に取り組めるよう指導する。 さらに、美化意識を育てることにより家庭での整理整頓にも取り組ませたい。	【取組指標】 校舎内外の美化意識を高めるため清掃活動に積極的に取り組ませる。	監督区域の生徒の清掃指導を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	
			【目標指数】 A+Bの合計が80%以上				
			【成果指標】 校舎内外の清掃活動に対し主体的に取り組む。	日々の清掃に、主体的に A：取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒	
			【目標指数】 A+Bの合計が90%以上				
			【満足度指標】 子どもは、家庭で整理整頓を行っている。	子どもは、家庭で整理整頓を A：しっかり行っていると思う。 B：ある程度行っていると思う。 C：あまり行っていないと思う。 D：全く行っていないと思う。	A+Bの合計が50%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者	
			【目標指数】 A+Bの合計が50%以上				
③気がかりな生徒に対する理解と対応に努める。	多様化・複雑化している生徒の心の悩みに対応するため、各教員が生徒理解と支援に努めるとともに、相互に共通認識を深め十分に連携を図る。	【取組指標】 生徒一人ひとりに対する理解と支援に努めている。	生徒に対する理解と支援を A：十分に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員		
		【目標指数】 A+Bの合計が90%以上					

平成30年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 [校務分掌]	重点目標	具体的取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
5 開かれた 学校づくり [図書 渉外部]	学校と保護者・地域社会との連携の強化および教育活動の広報に努める。	①ホームページやPTAだよりをとおして、本校教育の取組を積極的に広報するとともに、保護者や地域社会と連携した活動の充実に努める。	ホームページの内容の充実とわかりやすさが求められている。 ホームページやPTAだよりをとおして、学校の教育活動やPTA活動についての情報を発信し、確実に保護者に伝わるよう努める。	【取組指標】 生徒を通じて、学校の教育活動が保護者へ伝わるように働きかける。	PTAだよりなどの配布の際に、保護者へ伝わるような工夫を A：毎回行った。 B：時々行った。 C：あまり行わなかった。 D：行わなかった。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員 (クラス担任)
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【満足度指標】 ホームページやPTAだよりをとおして、学校やPTA活動の様子がわかったとする人数の増加を図る。	ホームページやPTAだよりにより、本校の教育活動やPTA活動の様子が A：よくわかった。 B：ある程度わかった。 C：あまりわからなかった。 D：わからなかった。	A+Bの合計が75%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者
【目標指数】 A+Bの合計が75%以上							

平成30年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者		
6 図書指導 〔図書 渉外部〕	学校図書館 の環境整備 および読書 指導の充実 に努める。	①図書および 資料の整備 と充実に努 める。	毎日のように来館して本に親 しむ生徒がいる一方で、図書館 をうまく利用できない生徒もい る。 生徒の読書意欲を喚起し、利 用促進を図るため、「図書館だ より」や「新刊案内」による広 報活動、魅力的な図書・資料の 整備と充実に取り組む。	【取組指標】 図書の購入について相談や要 求を受けやすくする。	図書の購入についての相談や要求は A：しやすい。 B：おおむねしやすい。 C：少ししにくい。 D：しにくい。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員		
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【成果指標】 図書室や学級文庫の本を必要 なものや自己を啓発するものが A：よく揃っている。 B：ある程度揃っている。 C：あまり揃っていない。 D：揃っていない。			A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	生徒
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上					
				【取組指標】 朝読書や読書マナーについて 指導する。	朝読書や読書マナーについて A：積極的に指導している。 B：必要に応じて指導している。 C：あまり指導していない。 D：指導していない。			A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員
		【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【成果指標】 朝読書に積極的に取り組む。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	生徒				
		【目標指数】 A+Bの合計が80%以上				【満足度指標】 朝読書と読書習慣についての 保護者の見方を把握する。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。		
		【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	朝読書は読書習慣に A：効果があると思う。 B：ある程度効果があると思う。 C：あまり効果はないと思う。 D：効果がないと思う。						